



# 博物館の窓

第114回

学芸員 持田 誠

北海道が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関して、全国に先駆けて独自に緊急事態宣言を発布したのが、2020年2月末。それから、はやくも5年が経過しました。

昨秋、千葉県国立歴史民俗博物館で、企画展「歴史の未来〜ひと・もの・データ」が開催され、当館が収集したコロナ関係資料も、時代の記録資料として展示されました。

コロナ関係資料としてどのようなものが集まり、そこからどんな事が記録されるのか、また記録されていないのか？今月、当館で開催する企画展でご紹介します。



国立歴史民俗博物館で開催された企画展「歴史の未来：過去を伝えるひと・もの・データ」の会場入口のようす。当館からは3種類のマスクを出展した。